

疫病退散の民俗行事

 ゆいきただ てんのうぶねなが
 「由比北田の天王船流し」の調査報告会を開催します！

◆アピールポイント	<p>○平成26年に文化庁から記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財に選択されたことを受け、市では調査委員会を組織し、令和3・4年度の2か年にわたり、天王船流しの特徴や歴史などの調査を行い、令和5年3月27日(月)に調査報告書を刊行しました。</p> <p>○このたび調査報告書の刊行を記念し、調査報告会を開催します。</p>
◆日時・期間	令和5年5月27日(土) 13時30分～15時30分
◆場所	由比生涯学習交流館 多目的ホール(清水区由比北田457番地の1)
◆内容など	 <p>○「由比北田の天王船流し」は、4mほどの巨大な麦ワラ船が町内を巡行して、お祓いをし、船を海に流す、疫病除けの行事です。これは7月第3土曜日に、清水区由比北田で行われています。令和5年は7月9日(日)に天王船作り、7月15日(土)に天王船流しが実施されます。</p> <p>○選択時に文化庁から『穢れを祓うという天王信仰の性格をよく伝えている。また、大きな藁船を用いる天王祭の形態は類例が少なく、地域的特色が顕著である。東日本における天王信仰の広がりやその地域的な様相を知るうえで貴重である。』と評価されました。</p>
	<p>【調査報告会の内容】</p> <p>○執筆した調査委員(中村 羊一郎氏 ほか6人)による調査報告(100人・無料・申込不要)。開催内容の詳細、ちらしは市ホームページにて。 URL https://www.city.shizuoka.lg.jp/701_000001_00284.html</p> <p>【報告書概要】</p> <p>○民俗学の専門家7人が執筆にあたり、歴史資料を含めた総頁数226頁です。本書は非売品ですが、5月初旬以降、市内図書館などでご覧いただけます。</p>
▲調査報告書表紙	<p>【調査の成果の一例】</p> <p>○由比北田の天王船流しの変遷、現在の行事の流れ、祭礼組織、天王船の製作過程、県内の類似行事などが本書で初めて記録されました。</p> <p>○資料調査では明治から昭和にかけての由比北田での津島講の記録、古い絵図が発見され、本書にて掲載されました。</p> <p>○県内外の船流し行事や疫病除けの行事などと比較できたことも大きな成果となりました。</p>

別紙資料 有・イベントカレンダーへの掲載 ・無

ぜひ告知・当日の取材を
 お願いします。

【問合せ】観光交流文化局文化財課 (静岡庁舎16階)
 担当 落合、杉山
 電話 054-221-1066